

平成23年度科学・技術関係予算についての意見募集結果
(24009：特別奨励研究員事業)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	44件
改善・見直しをした上で推進すべき	14件
推進すべきではない	4件
その他	1件
合計	63件

【主なご意見】

大学や研究機関で研究活動を行う優れた若手研究者のうち、格段に優れた能力を持つ者が早期に自立した研究環境を持つことは、我が国の持続的な成長や国際競争力を維持するために必要不可欠であり、これらの若手研究者が自立的に研究に専念できる環境等の為の予算を重点的に配分する必要があると考える。

博士課程学生の研究環境を充実させることは、次代の研究者を育てるためにも重要である。特別奨励研究事業はそれを実現するために最も効果的な方法であり、今後も推進すべきである。

人数を大幅に増加させて推進すべきだと思います。現在、少なくとも自然科学の分野では設備や人材が特定の研究機関に集中し、潜在能力を持ちながらそれを活かすことなく研究者の道から離れる人間が多いと感じます。職にありつけるかどうか分からない状況のポスドクの人数を考慮し、32人から大幅に枠を増やすべきです。